



2022年6月20日

株式会社立花商店 生田 渉

(新) 週刊カカオニュース第70号

毎度お世話になります。カカオトレーダーの生田と申します。今週のカカオニュースを配信させていただきます。

1. コートジボワール、2030年までに全カカオの加工を目指す (6/13)

コートジボワールは2030年までに同国で収穫される全てのカカオを国内で一次加工する計画だと、アビジャンで開催されたアフリカCEOフォーラムでパトリック・アチ首相が述べた。

これにより、同国は10年以内に世界のカカオの価値の25%を獲得することができる。

これは、2020年と比較して450億ドル以上の付加価値を生み出すと見られています。

目標達成はチョコレート業界での“ゲームチェンジャー”となるだろう。

*コートジボワールは以前、2022年までに収穫量の半分をココアバターやパウダーなどの半製品に粉砕することを目標として発表していた。

*2021年5月時点の設備能力はおよそ75万トン

2. アフリカ・カカオ：好天が続くが、貯蔵の心配が高まる (6/14)

- ・コートジボワールでは先週、雨と太陽が入り混じり、メインクroppの見通しが良くなった。
- ・生産者は倉庫スペースの不足を心配する声が高まっている。

コートジボワールとガーナのカカオの作柄見通しにとって天候は依然として良好だが、生産者は倉庫の不足を心配するようになっている。

先週は雨と太陽が混じり、開花を助け、収穫された豆が乾くのを助け、現在収穫中のミッドクroppには好都合だった。生産者は最近、十分な肥料と農薬の確保を特に懸念しており、また豪雨のために農園へのアクセスが難しくなっている。現在、コートジボワール南西部の生産者は、倉庫が満杯で、一部の豆を売るのに苦労しているという。

カカオ豆の生産量第1位のコートジボワールの南西に位置するメアギの協同組合員、ジブリル・ウッドラオゴ氏は、「コンテナ不足で輸出が困難になっている」と話す。「収穫の一部が不合格になるため、私たちにも多少のペナルティがあります。この状況がすぐに解決することを願っています」。

コートジボワールとの国境に近いエンチの生産者、デビッド・ソフォによれば、第2位の生産国ガーナでは理想的な天候が続いているとのこと。それでも、生産者は農薬等の投入資材が不足しているため、現在の作柄を心配している。

「天候の面では文句はありません」とソフォは言う。「唯一の問題は、害虫を防ぐために農場に散布する化学薬品の配達が遅れていることです」。

西アフリカの他の地域でも、ナイジェリアでは大雨と強風が作物に影響を与えていますが、カメルーンの生産者は豊作を期待しています。

3. ロンドン・ココア、ボリンジャーバンドの下を横切る(6/17)

ロンドン・ココア 12 月限はボリンジャーバンドの下限を下回り、売られ過ぎの可能性を示唆している。過去 1 年間で、最も活発な先物取引はこのレベルを 6 回下回り、その後 20 日間で平均 1.2% 上昇した。ICE ロンドン・ココア 12 月限は 200 日移動平均線を上回り、50 日移動平均線を下回っている
ロンドンカカオは 1.4% 下落の 1,762GBP/MT

【ボリンジャーバンドの下を横切った後の価格変動履歴】

| 上昇 | 下降 | 合計件数 |
|--------|-------|------|
| 3 件 | 1 件 | 6 件 |
| 平均リターン | | |
| 2.0% | -1.2% | 1.2% |

イベント数は、今回のシグナルを含む過去 1 年間に発生したテクニカルシグナルの回数です。平均リターンは、過去に発生したシグナルの今後 20 取引日の平均リターンを表しています。



4. ナイジェリア・エキチ州でのカカオ豆の価格下落、知事選で取引停止に(6/15)

ナイジェリアのエキチ州では今週カカオの価格が下落し、同州では知事選のため土曜日から市場が閉鎖されると、トレーダーは金曜日に述べた。

トレーダーによると、政府の検査官によって輸出に適していると認定されたグレードの高いカカオ豆は、国の南西地域に位置する同州で、先週の 99 万ナイジェリアナaira (2,357 ドル) に比べ、1 トン 98 万ナイジェリアナaira で取引されているという。

このトレーダーは、エキチ州のカカオ価格の下落は、同州のカカオ開発を妨げる乾燥した天候のため、販売されているミッドクロップカカオの品質が低いためと述べている。

土曜日にはエキチ州で知事選挙が行われるため、カカオの輸送と販売が停止されると、トレーダーは述べています。生産者はカカオの収穫に行けず、ガソリンスタンドも開店しない。投票が行われている間は、自家用車も公共車両も道路を走ることができないからだ、と彼は言った。

今回の選挙は、2018年に選出された与党「全進歩会議」の現職エキチ州知事カヨデ・ファエミ氏が4年間の任期を終えるために行われるものである。

オブザーバーによると、選挙はAPC候補のビオダン・オイェバンジと人民民主党のビシ・コラウォレの争いになることが大方の予想される。

5. カメルーンのドゥアラ港でのカカオ価格は事実上横ばい(6/14)

カメルーンのドゥアラ港でのカカオ価格は、同国国立ココア・コーヒー委員会が月曜日に発表した数字によると、木曜日に支払われた価格と比較して事実上横ばいであった。

輸出用のココアは1キログラム1,282CFAフラン(≒2.10ドル)で、木曜日の1,288CFAフランから0.46%の小さな下落であったことが、NCCBの数字で示されている。

NCCBのデータによると、価格は先週の月曜日から木曜日の間に3.4%下落した。

農園出荷価格は、4週間連続で横ばいとなった。

生産者やバイヤーによると、南西部では中間業者によって1kgのカカオが1,17CFAフランで取引され、カカオの主要生産地である中部では1,100で取引されている。

6. タンザニア、1年間のカカオシーズンで1,819万ドルのカカオを輸出(6/17)

タンザニアの農業省は金曜日に、カカオ豆の販売シーズンの始まりから6月8日までの間に9,134.54トンのカカオ豆を423.9億タンザニアシリング(1,819万ドル≒24.5億円)で輸出したと発表した。

同省は、協同組合開発委員会の数字を引用し、カカオ豆は1キログラムあたり平均4,711.43シリング(≒2.02米ドル)で販売されたと説明した。

タンザニアではカカオ豆は入札制度が採用されており、主産地のキエラ地区で毎週月曜日に入札が行われる。

買い付けを行った会社は、キエラからのダルエスサラームへの輸送、輸出の申請等を行う必要がある。

貧困に対するビジネスソリューションを推進する国際的な非営利団体テクノサーブの報告書によると、タンザニアでは40年以上前にココア生産が始まったが、当初の目論見とは異なり、まだ換金作物として大きく発展していないとのことである。

農務省によると、タンザニアの年間カカオ生産量は現在約11,000トン。現在の販売年度は2021年7月から2022年6月30日までとなっている。

7. ナイジェリア、2022-23年のカカオ収穫目標の10%を干ばつで失う見通し(6/15)

- ・天候不順による作物中期の収穫の犠牲者
- ・2022-23年のカカオ豆生産目標は34万トン

ナイジェリアは、主要なカカオの生産地域が長引く乾燥気候に見舞われ、2022-23年のカカオ収穫目標の10%を失う可能性がある。

アフリカ第3位のチョコレート原料の生産国であるナイジェリアの南部のカカオ栽培の6地域の1つであるオグン州は、今年に入ってから定期的に雨が降っていないと生産者が答えた。そのため、2022-23年の生産量は約3万4,000トン減少する可能性があると予測されている。ナイジェリアのカカオ豆の年間生産目標は34万トン。オグン州のカカオ生産者、ソラ・アキングバデ氏は電話で、同州では11月以降、目立った雨は3回しか降っていないと述べた。「この地域にある250以上の小さなカカオ農園のほぼすべてが、土壌の湿潤な水分を失い、干上がってしまった」と同氏は述べた。

ナイジェリア気象局ラゴス支局長のケネス・アヤディアニ氏は、乾燥した天候がさらに長く続くかもしれないと電話で語った。「南部では7月から8月にかけて、25日間に及ぶ深刻な小乾季が訪れるという。

ナイジェリア・ココア農家協会では州内の活動を調整するソロモン・ウィリアムズ氏は、この干ばつは「ここ数年で最悪の事態だ」と話す。「ミッドクロップの収穫はすでに干ばつの影響を受けており、後半の雨の改善のみがメインクロップの収穫を押し上げるだろう」と述べた。

ナイジェリアのミッドクroppシーズンは通常4月、5月から9月まで、メインクroppは10月から2月までである。

8. カカオ・チョコレート製品の輸出は2021年に69億リングに増加、MCBが発表(6/19)

マレーシアのココアおよびチョコレート製品の輸出は、2010年の42億リングから昨年は69億リング(≒2139億円)に増加したと、マレーシア・ココア委員会(MCB)のDr Ramle Kasin 事務局長が発表した。

彼は、この増加には、アジア太平洋諸国における一人当たりのチョコレート消費率の上昇が影響しており、この間、0.15キログラム(kg)から0.2kgに増加したと述べました。

同氏は、日曜日に開催されたサバ州ココアフェスティバル2022で、サバ州首相ダトゥク・セリ・ハジ・ヌールの司会のもと、このように述べました。

「このココアフェスティバルは、地元で生産されたチョコレート製品のプロモーションと国内のマーケティングネットワークの拡大を通じて、ココア産業の成長を促進し、ひいてはココア製品の収益、市場規模、種類の増加をもたらすことが期待される」

一方、ハジ氏は、国内の主要なカカオ豆生産者であるサバ州は、昨年合計1,616万リングのカカオ豆とココア製品を輸出し、その中には772万リング相当のチョコレート製品が含まれていると述べました。同氏はサバ州は国のカカオ豆生産量の59%(≒約540トン)を占め、国のカカオ農園総面積6,000ヘクタールのうち57%(約3,444ヘクタール)を占めていると述べた。

「昨年、サバ州のチョコレート企業家が記録した販売額は137,487リングットでした。私は、サバ州でより多くの川下カカオ製品企業家が生まれるよう、彼らが倍の努力をすることを望んでいます。サバ州には、ラナウ、コタ・マルドゥ、テノム、コタ・ベルド、タンブナンの5つの地区があり、カカオの栽培が盛んである」と述べた。また、5つの地区とは別に、州政府は州内でカカオ栽培を行おうとする起業家や企業のために、栽培地の拡大を支援することも検討する、と述べた。

サバ州でのカカオ豆の生産は他のアジア諸国に比べればそれほど大きなものではないが、Bean to Barチョコレート企業家(乾燥カカオ豆を加工してチョコレート製品にする企業)の高級カカオ豆の需要に応えるために役立っています。この中には、一つの国や地域のカカオ豆からチョコレートを製造するシングルオリジン・チョコレート事業者や、ニッチ市場向けの高級チョコレートを製造する事業者(少量生産だが高値で売れる高級チョコレートを製造する事業者)が含まれている。

「このことは、川下のカカオ製品が州の経済に大きな影響を与えることを意味します。サバ州の川下カカオ産業は現在、5つのチョコレートやココア菓子、ココアベースの食品会社、そして32人の地元の小さなチョコレート企業家で構成されていると聞いています」と述べました。州首相は、カカオ産業が国の経済と収入への貢献度を高めるための長期戦略に沿って、競争力と弾力性のある経済セクターであり続けるための様々な戦略が実施されていると述べた。

9. コートジボアール新物、6/6-6/12の週間着荷数量は31,112トン(6/13)

政府のデータに詳しい人物によると、コートジボワールの生産者は先週、31,112トンのカカオを港に出荷した。前年同時期の数量は29,835トンであったので現在港への着荷は増えている。10月1日のシーズン開始からの総着荷数量は、約221万トンとなっており、過去最高であった昨年同時期の推定値225万トンに近い数字

下記は、同国内のカカオ豆の買受先の一覧である。最大の買い手は、バリーカレボーのグループ企業である Saco 社や、Olam International の関連企業である Outspan, や Cargill などの企業である。

以下は、10月1日から6月5日までの上位各社の購入量（単位：トン）の表である。

| 会社名 | 購入数量(トン) |
|---------------------|-----------|
| カーギルグループ | 296,050 |
| アウトспан(オーラムグループ) | 271,476 |
| Saco 社(バリーカレボーグループ) | 270,547 |
| Touton 社 | 142,968 |
| S3C 社 | 140,987 |
| その他企業 | 1,091,691 |
| 合計 | 2,213,719 |

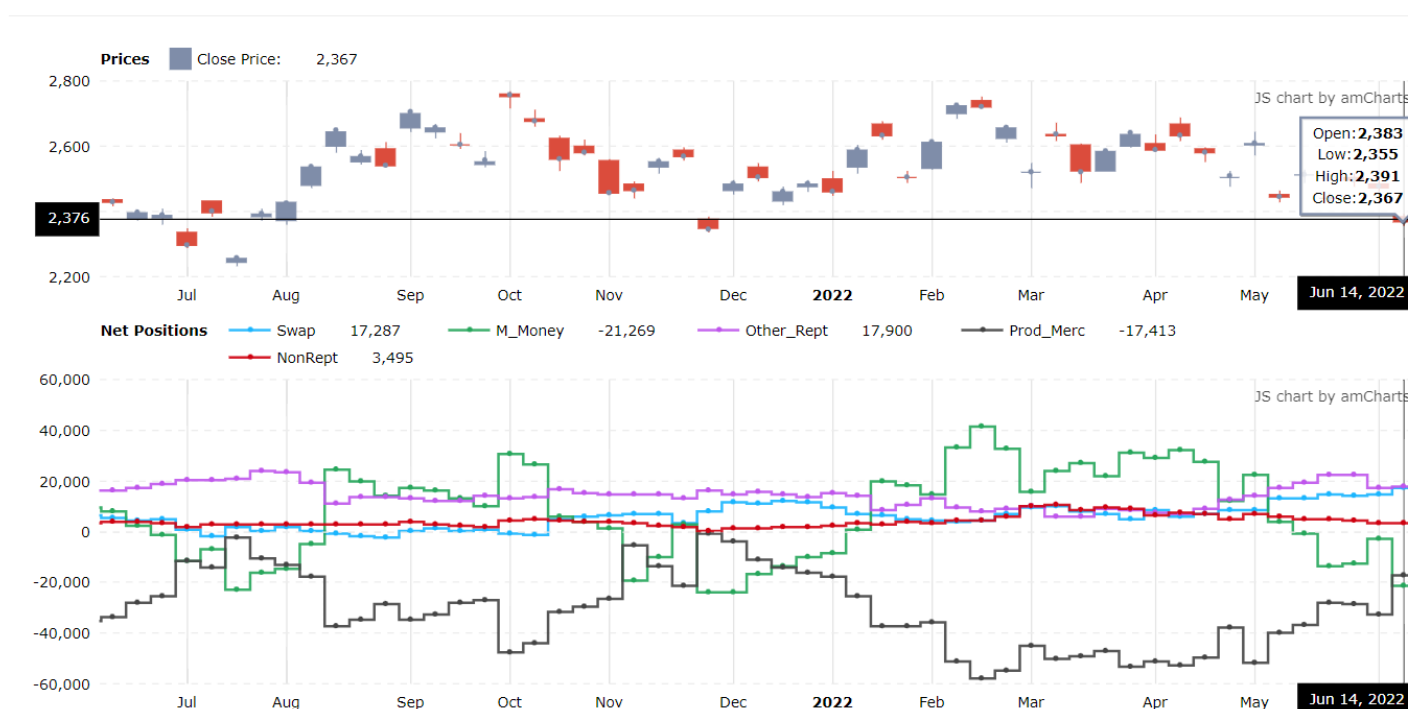
10. ファンド勢のNY先物は純売り越しポジションの急激な上昇で6か月ぶり高水準(6/18)

ニューヨークのカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋 (Managed Money) は今週、純売り越しポジションを 18,314 ロット増加 (先週は 7,683 ロット減少) させ、20,658 ロットとした。毎週発表されるこのポジションレポートの取引数字は毎週火曜日まで、(今週で言えば、6月14日) の取引が含まれている。

- 純売り数量は、過去6か月で最も多い。⇒過去6か月で最も売られすぎ状態。
- 総買い数量は **404 ロット減少 (先週は 906 ロット増加)** し、**65,817 ロット** となった。
- 総売り数量は **17,910 ロット増加 (先週は 6,777 ロット減少)**、**86,475 ロット** となった。
- 総売り総量は、**過去4年間で最も高い数字。**

参考分析資料；過去1年のNY市場の実需家VS投機筋のポジションと相場価格

Prices & Net Positions



黒線・・・カカオ磨砕業者やチョコレート製造会社など実需家

緑・・・ヘッジファンドなどの資金運用者

水色・・・投資銀行などスワップディーラー

現在の米ドルの金利上昇に関連して、先物全般、株、仮想通貨など全面的に大幅に売られています。先週月曜からの売りが特に大きく、火曜日までの数値でこれだけ売られているという事は更に先週売られたので、なかなか売られすぎ状態=逆の意味では今後の相場の反転の可能性が大きい状態になっています。

11. ファンド勢のLDN先物は純買い越しポジションが減少し5か月ぶり低水準 (6/18)

ロンドンのカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋 (Managed Money) は今週、純買い越しポジションを 5,159 ロット減少 (先週は 1503 ロット増加) させ、6,111 ロットとした。毎週発表されるこのポジションレポートの取引数字は毎週火曜日まで、(今週で言えば、6月14日)の取引が含まれている。

- 総買い数量は 1,731 ロット減少 (先週 409 ロット減少) し、26,229 ロットとなった。過去5か月で最も少ない数字
- 総売り数量は 3,428 ロット増加 (先週 1,912 ロット減少) し、20,118 ロットとなった。

ロンドン市場は、NY市場に比較すればまだ“売られ過ぎ”の状態にはない。しかし先々週、先週と徐々に純買い越しポジション (総売り数量 - 総買い数量がプラスの状態) が減ってきており、売りの数量が増えている。大きな流れとしてはNY市場と変わらないが動きはやや遅く、なだらかといった印象。先週の強い売りを考慮すれば、いずれにしても相場の相場の反転が起こる前兆が見てとれる。

参考) ロンドン市場の主要なプレイヤーのポジション状況

| Commitments of Traders | | Futures only | | | | | | | |
|---|--------|--------------------------------------|--------|--------------|-------|-----------|---------------|-------|-----------|
| ICE Futures Europe | | | | | | | | | |
| 14/06/2022 | | | | | | | | | |
| MktDate | OI | Producer/Merchant/ Processor/User | | Swap Dealers | | | Managed Money | | |
| | | Long | Short | Long | Short | Spreading | Long | Short | Spreading |
| 14/06/2022 | 270458 | 149468 | 167212 | 33639 | 34378 | 12017 | 24925 | 19930 | 19391 |
| Percent of Open Interest Represented by each Category of Trader | | | | | | | | | |
| 14/06/2022 | 100% | 55.3% | 61.8% | 12.4% | 12.7% | 4.4% | 9.2% | 7.4% | 7.2% |

週刊カカオニュースの配信の削除、ご依頼については、下記アドレスまでご連絡願います。

株式会社 立花商店 生田 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp

*本ニュースの相場情報は、客観的なデータの報告及び、著者の主観的な意見を述べるものであり、一切の取引の推奨を目的としたものではございません。カカオ先物、及び現物の取引におかれましては各個人様、法人様のご判断に基づいて行って頂きますようお願い致します。